



幸田町長 成瀬 敦

年頭の ごあいさつ



新年明けましておめでとうござい
ます。

町民の皆さんにおかれましては、健
やかに新年をお迎えのこととお慶び申
し上げます。

昨年は、国内の景気において雇用や
所得環境の改善が進みつつある一方で、
ウクライナ、中東情勢の影響や米の流
通不足などによる物価高騰が続ぎ、依
然として生活に厳しい状況が続いてい
ます。加えて、社会・地域課題として
人口減少・少子高齢化、地方の人口流
出などの課題が多く残っており、地方
創生の重要性が増しています。

そうした中、本町においては、広報
こうた令和7年11月号の特集にも掲載
いたしました。9月19日に長野県箕
輪町と姉妹都市協定を締結いたしまし
た。同協定は、長崎県島原市に引き続
ぎ、2自治体目の締結となります。箕
輪町とは、平成7年に本町の中学生が
農業体験に訪問したことが契機となり、
交流が始まりました。平成24年には、
災害時における相互応援に関する協定
を締結し、みのわ祭りやこうした夏まつ
りなど、お互いのお祭りなどへ参加を
して交流を深めてまいりました。昨年
には特産品の交流として、当町からは
ナス、箕輪町からはリングゴをお互いの

小中学校などに贈り合いました。今回
の協定締結を、文化や防災に限らず、
さまざまな分野での交流を通じて、お
互いの良いところを吸収し合い、さら
なるまちの魅力づくりにつなげていき
たいと考えています。

また、夏の暑さが厳しくなる中、令
和6年から順次実施していました、町
内小中学校の体育館空調整備工事が、
昨年の小学校分も順調に進み、令和8
年3月に完了予定となっています。特
に、中学校の体育館にあつては基幹避
難所でもあるため、普段は少しでも快
適に勉学に努められ、いざというとき
に備える環境整備を進めてまいります。
高齢者生きがいセンター移転改修工事
につきましても、4月のオープンに向
けて準備を進めています。既存のセン
ター事業に加えて、総合的な福祉施策
展開を計画しています。幼少期から高
齢期まで、それぞれのステージで生き
がいを見つけながら、住みやすいまち
づくりをできるように、取り組んでま
いります。

新しい年を迎えるにあたりましては、
人口減少問題や子育て支援などさまざ
まな課題はありますが、町の将来像を
描く第7次幸田町総合計画の策定に加
え、特に町の将来の展望が開ける輝か

しいまちをつくるために、「防災・減災・
安全安心基盤づくり」、「都市基盤整備
づくり」「子育て・教育支援」「医療・健
康・福祉・介護の体制整備」「産業振興・
働き方改革」「新産業の立地支援」「DX
推進・財産健全化・人材育成」の施策
を積極的に進めていきたいと考えてい
ます。

将来展望が開ける輝かしいまちをつ
くるためには、町民の皆さんの力をい
ただきながら、一緒になって取り組ん
でいくことが重要です。新たな町の魅
力発掘と町内外への発信を続け、さら
なる町の活性化に向け取り組んでまい
りますので、町政への変わらぬご理解
とご協力を賜りますようお願い申し上
げます。

新しい一年が皆さんにとって幸多き
ことを祈念申し上げ、年頭のあいさつ
といたします。

